

自立支援型地域ケア会議とは

(1) なぜ自立支援型地域ケア会議を実施するのか

(令和6年) これまでは、地域ケア会議と同じく専門職や地域の代表者を集めて開催していた。

内容は従来のケアマネジメントだけでは解決できない困難事例が多くなった。

(本人の困り事よりも関係者の困りごとを解決する方法を探す)

【課題】 本人の自立支援・介護予防・重度化防止の視点が不足した
本人が「その人らしくあるため」の選択肢が不足していた

(2) 自立支援型地域ケア会議の具体的な内容(自立支援に着眼したプラン検討)

主催：地域包括支援センター 3包括合同 年4回開催予定

参加者：専門職

(理学療法士、作業療法士、薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、精神保健福祉士等)

ケース：要支援1, 2 事業対象者 要介護1 概ね年齢 75歳~85歳

① 本人は、〇〇したい

例) 自分で買い物に行って、商品を選びたい

・ケース説明
・専門職からの質問・助言
・地域ケア会議に向けて
地域課題抽出

③ 本人の努力だけでは実現できない部分を地域で解決に近づけることはできるのか

例) 近隣で、誘い合って買い物に行く
ネット注文、公的サービスなど

② 本人の課題はなにか

例) 腕が上がらず、商品を棚から取れない。

理：腕の動かし方

例) 30分以上歩けない

米：ご飯をしっかり食べましょう

歯：噛み合わせも踏ん張りに重要

例) 痛み、しびれ

薬：服薬の種類は？

②までで、課題が解決することもある

(3) 自立支援型地域ケア会議の向かうところ

高齢者自身が現状認識と活動意欲を高め、自分らしい生活をかなえるため、生活活動・介護予防に対する取り組み方法を自己選択できる

ケアマネジャー・サービス提供者・その他職種が、高齢者の自立支援・介護予防・重度化防止に沿った支援方法を多職種からの専門的アドバイスを取り入れて、アセスメント力、ケアマネジメント力を高め、今後のケアに活かす

(4) 個別地域ケア会議開催(従前のような地域の方が参加する)

地域の多職種、ボランティアや企業が集まって、地域課題・地域資源を共有